

令和4年度 決算報告



皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするために、市公式ホームページなど、さまざまな方法で予算の執行状況や決算を公表しています。今月は4年度の一般会計の決算の概要と、実施した主な事業をお知らせします。

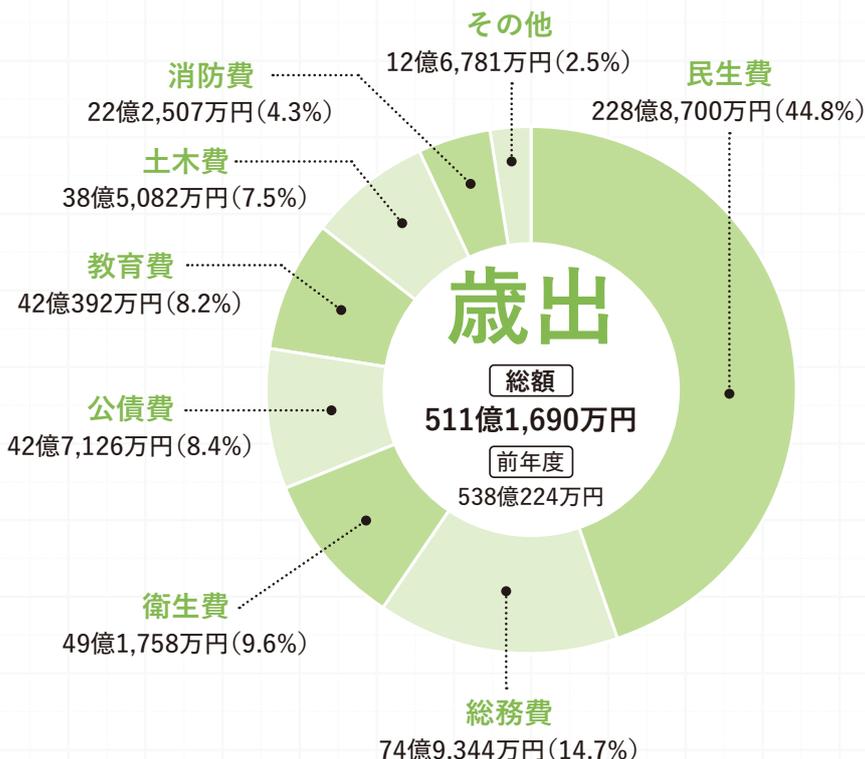
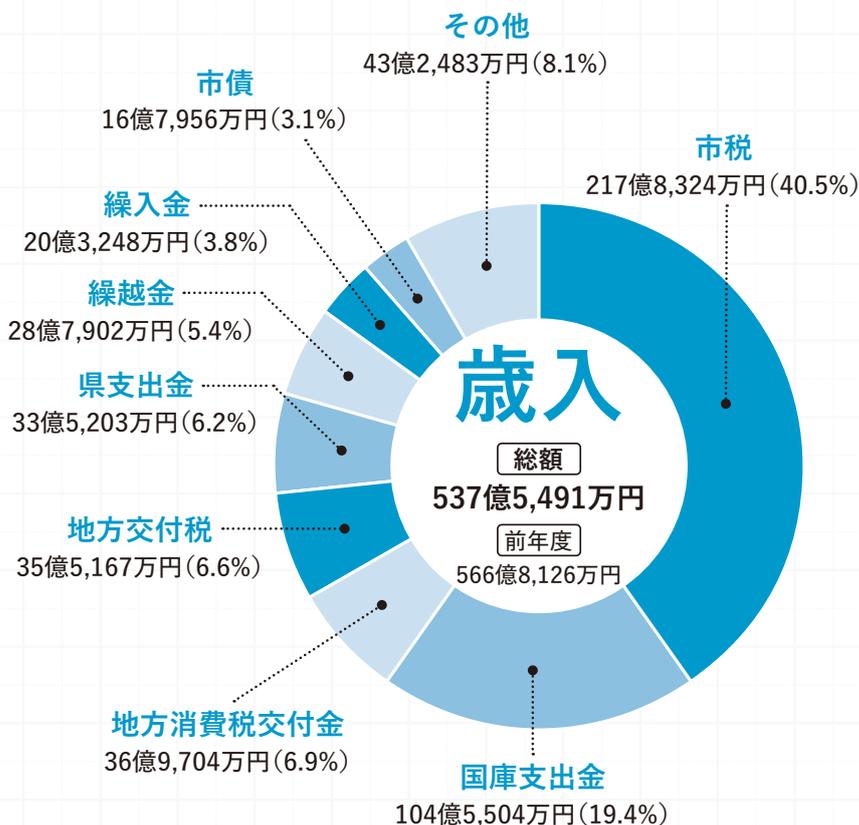
狭山市の決算は、健全化判断比率により健全であることが示されています。

4年度 一般会計決算の概要

歳入は、地方税全体においては、給与収入などの増加に伴い個人市民税が、新築家屋の増加に伴い固定資産税が増額となったことなどにより、前年度比2.4%の増となりました。一方で、地方債が臨時財政対策債の減額に伴い60.7%の減となり、歳入全体としては5.2%の減となりました。

歳出は、3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した事業を実施しました。その結果、農林水産業費が「事業者応援！農業経営継続支援金」により、商工費が「生活応援！さやまプレミアム付チケット負担金」により大きく増額となりましたが、土木費が狭山市駅加佐志線整備事業の用地取得が進んだことなどにより24.8%の減となり、歳出全体では5.0%の減となりました。

歳入から歳出を差し引いた26億3,801万円を5年度に繰り越しました。



市の財政状況を公表します

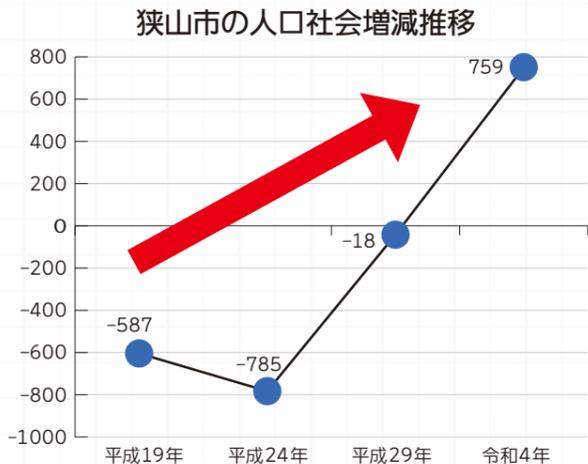
- 内容** 4年度決算と5年度上半期の予算、財産、基金
- 期間** 6年1月31日(水)まで
- 場所** 市役所1階情報公開コーナー、地区センター、入曽地域交流センター、図書館(休館日を除く)

問合せ 財政課へ ☎2935-6633

令和4年度 主な事業

テーマ1 若い世代を増やす

少子高齢化と人口減少対策に取り組み、女性の力を活かして、人口減少を克服する持続可能なまちづくりに取り組みました。



近年、少子高齢化の影響から市内の総人口は減少が続いているものの、転入・転出などによる人口の変化を表した「社会増減」は令和3・4年度と、大幅な増となっています。

移住・定住促進事業 6,565万円

「親元同居・近居支援補助制度」や「若い世代の住宅取得支援補助制度」により住宅を取得したか増改築した世帯に対し、その費用の一部を補助しました。この制度を利用し、199世帯578人が狭山市に転入しました。



子ども医療費支給事業 4億2,753万円

中学校修了前までの児童を対象に、医療費の保険診療自

己負担額を助成しました。また、窓口払いが不要な範囲を、市内の医療機関から県内の医療機関に拡大しました。

入曽地区子育て支援拠点等整備事業 2,729万円

3年度に民間事業者と締結した基本協定に基づき、子育て支援拠点施設と公共広場の設計を進め、4年12月に整備に着手しました。



母子家庭等自立支援事業 4億8,903万円

ひとり親家庭などの保護者と児童を対象に、医療費の保険診療自己負担額を助成しました。また、窓口払いが不要な範囲を、市内の医療機関から県内の医療機関に拡大しました。養育費関連の公正証書作成費用などを補助しました。

小学校校舎空調設備改修事業 1億4,588万円

中学校校舎等改修事業 3億2,196万円

入間川小学校の校舎空調設備の更新工事に着手しました。また、山王中学校など計4校の生徒用トイレを和式から洋式へ改修する工事を実施しました。



テーマ2 まちと産業に活力を

産業を活性化し、駅周辺に賑わいを創出し、人と企業に選

ばれるまちづくりに取り組みました。

入曽駅周辺整備事業 4億5,505万円

入曽駅周辺の利便性と安全性を高めるため、区画道路や駅前広場の築造工事、雨水抑制のための雨水浸透貯留槽工事などを実施しました。



また、入曽駅の東西自由通路と橋上駅舎の整備について、実施設計が完了しました。

産業労働センター管理事業 1億619万円

中小企業・小規模事業者に対して伴走型ビジネスコンサルティングを行う、狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)が1,668件の相談を実施しました。



狭山市駅加佐志線整備事業 1億5,917万円

市道幹第90号線道路築造工事や道路用地取得、物件調査業務などを実施しました。

笹井柏原線整備事業 3億6,347万円

市道幹第92号線道路改良工事や道路台帳作成業務などを実施しました。

テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで健康でいられることが当たり前と

なるよう、安心、健康、便利なまちづくりに取り組みました。

地域公共交通対策事業 2,060万円

堀兼地区デマンドバスの事業費の一部を補助したほか、利用状況を把握し、運行計画を見直す支援を実施しました。



交通安全推進事業 3,854万円

警察などの関係機関と連携して交通事故の防止活動を推進しました。また、高齢運転者による交通事故の防止と事故の被害軽減を図るため、後付け安全運転支援装置の設置と運転免許証の自主返納に対する助成を行いました。

テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にふさわしい元気なまちづくりに取り組みました。

クリーンエネルギー推進補助事業 1,199万円

電気自動車の購入や、住宅に太陽光発電などの省エネルギーシステムを設置する費用の一部に対する助成を253件行いました。

コミュニティ推進事業 7,159万円

コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会への支援を行いました。また、コロナ禍でも地域で活動するため、オンライン会議を行うことができる環境づくりを進めました。

個人番号カード交付事業 4,736万円

「個人番号制度(マイナンバー)カード」の交付に関する対応を効率的に行いました。1年間の交付件数は36,291件、累計交付件数は96,240件(交付率64.3%)となりました。

市民1人あたりに使われた費用 合計342,806円



民生費 ¥153,488
子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費



総務費 ¥50,253
市有財産の管理や一般事務などに要する経費



衛生費 ¥32,979
保健衛生やごみ処理などに要する経費



公債費 ¥28,644
道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の支払いに要する経費



教育費 ¥28,193
学校教育や生涯学習に要する経費



土木費 ¥25,825
道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費



消防費 ¥14,922
消防や災害対策に要する経費



その他 ¥8,502
市議会運営や農業振興に要する経費など